

ブラジル金融政策(2017年9月)

～ 利下げ継続も今後はペースを鈍化。喫緊の課題への政府の取り組みに期待。～

2017年9月7日

お伝えしたいポイント

- ・ 中央銀行は利下げを継続するも、利下げのペースを鈍化させる見込み
- ・ 景気回復の兆しが見え始める中、政府は取り組み可能な構造改革を進める
- ・ テメル大統領は国民に不人気も海外投資家からの支持は厚い

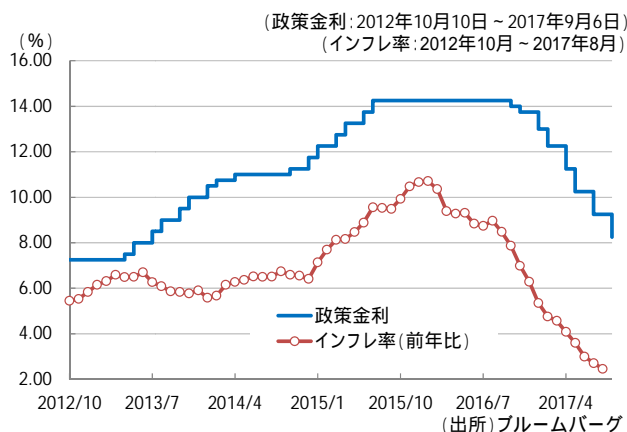
< 中央銀行は利下げを継続するも、利下げのペースを鈍化させる見込み >

ブラジル中央銀行は9月6日(現地、以下同様)、政策金利を1.00%ポイント引き下げ、8.25%とすることを決定しました。利下げの決定は全会一致で行われました。2016年10月以来の実施分を合わせると合計6.00%ポイントの利下げ幅となります。

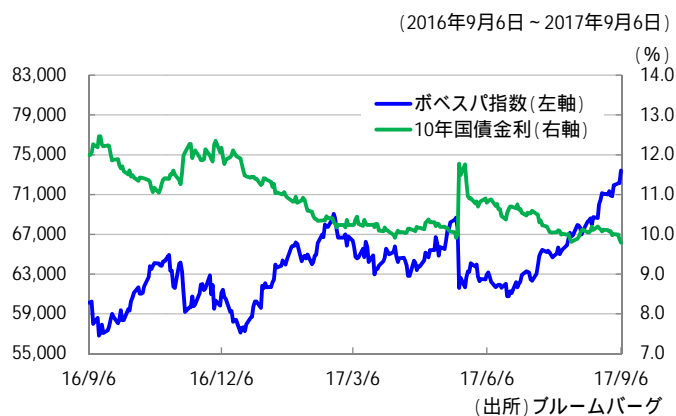
今回の決定は大方の市場予想通りの結果となりました。インフレ率(前年比)が中央銀行のインフレ目標の範囲(3%~6%)の下限を下回っており、引き続き物価の伸び率が落ち着いてきていることが利下げの背景です。政治に不透明感はあるものの、景気回復を支援する金融緩和政策は継続となりました。

これまで利下げを継続的に行ってきており、すでに金融政策が緩和的であることなどから、今回の Copom (金融政策委員会) の声明文において、中央銀行は次回の会合で政策金利の引き下げ幅を縮小する可能性を示しました。また、今後は緩和サイクルの終了に徐々に向かっていく可能性についても言及しました。

(政策金利とインフレ率の推移)



(国債金利および株価指数の推移)



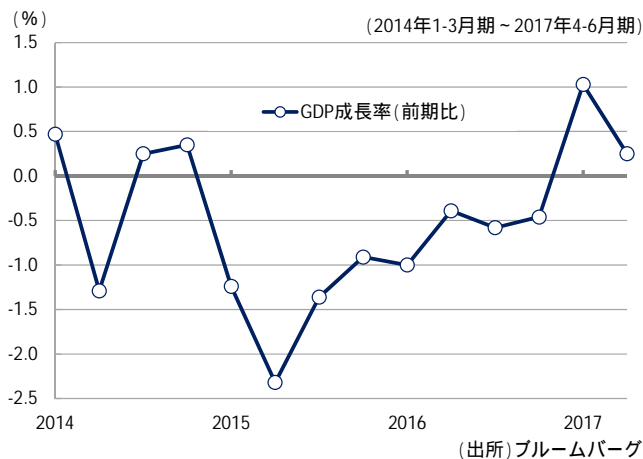
後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

< 景気回復の兆しが見え始める中、政府は取り組み可能な構造改革を進める >

9月1日に発表された2017年4-6月期GDP（国内総生産）成長率は、9四半期ぶりにプラス成長となった前期から伸び率こそ鈍化したものの、2四半期連続で前期比でのプラス成長を維持し、ブラジル経済の底入れが進んでいることが確認されました。この背景としてはインフレ圧力の後退に加えて、個人消費が10四半期ぶりにプラス成長に転じたことなどが挙げられます。

ブラジルにおいては、政局の不安定さから構造改革の目玉とみられている社会保障改革が停滞しています。ただし、ブラジル政府は、インフラ（社会基盤）事業の民営化や政府系金融機関の貸出金利の適正化を通じて、財政の健全化や取り組み可能な範囲での構造改革を進めています。テメル大統領は8月22日、第28回ブラジル鉄鋼業界会議で「社会保障改革を諦めない」と発言しており、改革を進める意志の強さが引き続き確認されたことから、社会保障改革法案の成立にも期待が持てそうです。

(GDP 成長率の推移)



< テメル大統領は国民に不人気も海外投資家からの支持は厚い >

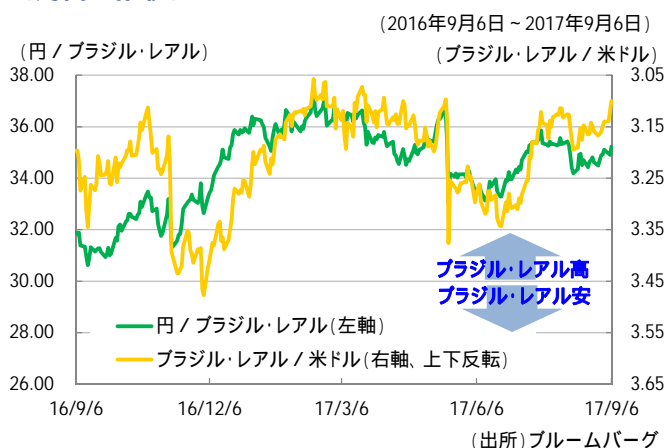
大手世論調査会社 IBOPE が7月に発表した世論調査では、テメル大統領の支持率は5%となり、歴代ブラジル大統領の支持率の中で最低を記録しています。その背景には、テメル大統領自身に汚職疑惑がつきまとう中、財政再建や社会保障改革などの国民にとって痛みを伴う改革を進めようとしていることなどが挙げられます。

一方、ボブスバ指数が史上最高値に迫っていることや、ブラジル・レアルが堅調に推移していることから分かるように、海外からブラジルに投資資金が流入しており、テメル大統領の施策は海外投資家からは支持されていると考えています。

今後も、テメル大統領が中心となって進める来年度予算案などの喫緊の課題への取り組みは、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、ブラジル・レアルの下支えになると期待されます。

以上

(為替の推移)



後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

< ご参考 > 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のブラジルに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

マーケットレター

- ・ブラジル金融政策（2017年7月）～利下げを継続。ブラジルの景気回復と社会保障改革法案の動向に注目。～（2017/7/27）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170727_2.html
- ・ブラジルのテメル大統領の汚職疑惑（2017/6/28）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170628_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ～その3～（2017/6/13）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170613_1.html
- ・ブラジルの政策金利引き下げについて（2017/6/1）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170606_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ～その2～（2017/5/25）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170526_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑の続報（2017/5/22）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170522_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑と今後の注目点（2017/5/19）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170519_1.html
- ・ブラジルの政策金利引き下げと金融市場見通しについて（2017/4/13）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170414_3.html
- ・ブラジルが政策金利を0.75%ポイント引き下げ（2017/2/24）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170224_1.html

動画

- ・ブラジルマクロ経済～構造改革と利下げで経済環境見通しが改善するブラジル経済～（2017/1/16）
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov13.html>
- ・ブラジル債券市場～良好な投資環境が続くブラジル債券投資～（2017/1/16）
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov14.html>
- ・ブラジル株式市場～新政権による改革～（2017/1/13）
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov11.html>

Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向（毎週更新）
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>